

県民の健康を支える多彩な公衆衛生活動——一部事業は見直しも——

平成24年度公衆衛生活動対策専門委員会

- 日 時 平成25年1月17日（木） 午後4時～午後5時
- 場 所 鳥取県健康会館 鳥取市戎町
- 出席者 20人
- 岡本健対協会長、魚谷委員長
- 吉中・渡辺・清水・岡田・福永・森尾・松野・大口・
- 吹野・中安・吉田・丸瀬・能勢・黒沢各委員
- 県健康政策課：下田副主幹
- 健対協事務局：谷口事務局長、岩垣係長、田中主任

挨拶（要旨）

〈岡本会長〉

今年度より魚谷委員長が新任されました。平成20年度から糖尿病について調査をおこなっていたが、平成23年度をもって終了とし、平成24年度より新たな事業が立案されているので、ご検討願います。

〈魚谷委員長〉

今年度より委員長に就任することとなりました。以前、西部医師会代表の委員として、委員会に出席したことがあります。慣れない分野ですが、よろしくお願いします。

報 告

1. 平成23年度事業報告及び平成24年度事業中間報告

（1）健康教育事業：魚谷委員長より報告

①健康フォーラム

○平成23年10月22日（土）「とりぎん文化会館・小ホール」開催。聴講者278名

「生活習慣病と放射線健康障害—予防医学の立

場から—」

講師：鳥取大学学長 能勢隆之先生

「運動による生活習慣病予防効果と日常生活でできる有効な運動について」

講師：鳥取大学医学部社会医学講座病態運動学分野 准教授 加藤敏明先生

○平成24年9月8日（土）「ハワイアロハホール」

開催。聴講者137名

「鳥取発、最先端の肺がん外科治療 ～ロボット手術が切り開く外科の新時代～」

講師：鳥取大学医学部附属病院 胸部外科
科長・准教授（診療教授）

中村廣繁先生

「肺癌の自覚症状と薬物治療の個別化」

講師：鳥取大学医学部統合内科医学講座分子制御内科学分野 教授 清水英治先生

共催：鳥取県医師会・鳥取県健康対策協議会・新日本海新聞社

②日本海新聞健康コラム「保健の窓」を平成23年度は25回、平成24年度は1月現在で20回掲載した。

公開健康講座の講演内容について掲載してい

る。

- ③日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を平成23年度は27回、平成24年度は1月現在で20回掲載した。

一般の方から疾病に関する質問を受付、それに対する回答を掲載している。

- ④鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー

毎月1回、鳥取県医師会公開健康講座実施。会場は鳥取県健康会館のほか、倉吉市、米子市内で1回ずつ開催。なお、鳥取県の委託事業である「生活習慣病対策セミナー」については年12回で、鳥取県医師会公開健康講座のうち6回を生活習慣病セミナーにあて、3地区においても2回ずつ同様のセミナーを実施。

渡辺委員より、鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナーは、平成23年度までは倉吉市、米子市内で1回ずつ開催してきたが、西部医師会主催の一般公開健康講座が毎月開催され、生活習慣病対策を中心としたテーマで行われているので、野坂西部医師会長と相談の結果、平成24年度は米子市での開催をしないこととしたと報告があった。

(2) 地域保健対策

平成20年度から行ってきた「学校検尿における2型糖尿病発症頻度およびフォローアップシステムの研究」は平成23年度をもって終了。

平成20年度～平成23年度の鳥取県東部地区学童糖尿病検診の結果、4年間で糖尿病型2名（いずれも2型）、境界型6名、合わせて8名の耐糖能異常の方が検診で発見され、このうち境界型として定期follow中に糖尿病に移行した者はいなかった。

対象者が非常に少ないことや、現状では、全県で学童糖尿病検診を行う体制作りが難しいこともあり、健対協事業としては終了となったが、東部医師会では継続してこの研究は行われる。

平成24年度から新規事業として『各種がん検診

確定がん予後調査から検診の精度評価を考える』を行うこととなった。岡田委員が中心となって進めていくこととなった。

厚生労働省が発表した『平成22年度がん75歳未満年齢調整死亡率』によると、鳥取県は全国ワースト2位である。現在、県は喫緊の課題として「がん対策推進評価専門部会」において原因究明の審議がなされているが、各種がん検診の精度管理を担ってきた鳥取県健康対策協議会（健対協）においても、各種がん検診データをもとに総合的に評価分析し、今後取るべき有効な対策等について検討を行い、何らかの情報が発信できればと考え、検診確定がんリストと『鳥取県がん登録データ』を照合し、性別、部位、病期別、組織型、術式別等の生存率の集計を行い、検診の効果や効率の総合的な評価を行うこととした。

ここ10年間で罹患率、死亡率が上昇している乳がんについて、まず調査を行うこととした。

(3) 生活習慣病対策事業

①地区における健康教育

〈東部医師会（福永委員）〉

1. 東部消防局を会場にして救急医療講習会を年1回開催している。
2. 鳥取市市民健康ひろばにて、健康相談を行った。
3. 東部医師会健康スポーツ講演会を平成24年1月19日に開催し、参加者は31名であった。平成24年度も平成25年3月1日に開催予定である。
4. 各会員による健康教育講演は、平成23年度は111回、平成24年度は12月末で60回行った。

〈中部医師会（森尾委員）〉

1. 「住民健康フォーラム」を平成23年11月27日、『生活習慣病にならないために血液サラサラをめざして』をテーマに開催し、参加者は87名であった。また、平成24年度は9月30日に『目がまわる』、「ふらふらする」あなたのお

悩みに答えます』をテーマに開催し、参加者は48名であった。

2. 各会員による健康教育講演は、平成23年度は29回、平成24年度は17回行った。

〈西部医師会（松野委員）〉

1. 健康教育講座を平成23年度は米子市内の公民館で31回、境港市で18回行った。平成24年度は1月現在で米子市内の公民館で30回、境港市で15回行った。米子市はメンタルヘルスのテーマが多く実施されている。
2. 地区の公民館を会場にして、「『出前講座』上手に医師にかかるには」と題した講演を行っており、平成23年度は9回開催されている。
3. 毎月第3木曜日に米子市文化ホールで「一般公開健康講座」を行っており、平成23年度は11回、平成24年度は1月現在で9回開催されている。
4. 各会員による健康教育講演は、平成23年度は47回、平成24年度は集計中である。
5. 中海テレビで医師の出演による「健康プラザ（5分番組）」が放送されている。

各地区の医師会員が地域、学校において住民のために、それぞれの希望に沿ったテーマで健康教育活動を献身的に多く行われている。

②健康医療相談

鳥取県健康会館において、面談による健康医療相談を毎月第1～4木曜日に行っている。

第1木曜日は精神科、第2及び第4木曜日は内科、第3木曜日は整形外科で実施している。

平成23年度は44件、平成24年度は1月現在で47件の相談があった。

内科医が担当して月に2回一般的な健康医事相談を行っており、平成24年度は現在11件の相談があったが、医事紛争に発展しそうな事案はあったかという質問があった。担当されている岡田委員からは、特に問題となるような相談はなかったと

報告があった。県の担当課、保健所においても、苦情相談を行われているので、何かあったら、鳥取県医師会、地区医師会に一報頂きたいという意見が出た。

協 議

1. 平成25年度事業計画（案）：

魚谷委員長より説明

（1）健康教育事業

- ①健康フォーラムは新日本海新聞社との共催で行ってきたが、費用負担が大きいことや毎年9月に開催しているが、同時期に講演会が集中して開かれ、受講者が年々減少していること等があり、継続していくかどうか、鳥取県医師会で検討中である。
- ②日本海新聞健康コラム「保健の窓」を年間25回掲載続行予定。
- ③日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を木曜日（月2回～3回）に掲載続行予定。
- ④鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー継続開催。

県健康政策課より平成25年度に行われる①健康フォーラム、②生活習慣病対策セミナー、③日本海新聞健康コラムにおいて、次のテーマが希望されており、平成25年度立案の際には検討することとなった。各種がん、肝臓病、糖尿病予防対策、脳血管疾患、高血圧に関連する疾病予防、CKD対策、鳥取県禁煙治療費助成事業、感染症対策。

渡辺委員より、鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナーは、西部医師会の了承が得られれば、平成25年度も米子市での開催はしないこととしたい。野坂会長より、テレビ会議システムを活用して鳥取県医師会公開健康講座を西部医師会館で中継して頂きたいという要望を伺っているので、今後検討していきたいというお話があった。

これに対し、西部医師会主催の一般公開健康講座のうち1回を鳥取県医師会公開健康講座とタイ

アップして行うことを検討してはどうかという意見があった。

また、西部医師会協力の下、中海テレビが制作されている「健康プラザ」が東部、中部圏域でも視聴出来るようにならないだろうかという意見があった。この件については、鳥取県医師会広報委員会でも検討して頂き、ケーブルテレビ協会に相談してみる事となった。

（２）地域保健対策

『各種がん検診確定がん予後調査から検診の精度評価を考える』を行う。

（３）生活習慣病対策事業

地区医師会の健康教育、健康医療相談を継続実施。